NPO法人百華倶楽部

活　動　明　細

◆ 取組の名称　第9回　あじさいサロン前川クラス2月

◆ 日時　令和3年　2月28日（日 ） 10:30～15:00

◆ 場所　明和荘（陶山塾）（広島県三次市甲奴町小童2810）

◆ 主催　四文会所

◆ 共催　NPO法人　百華倶楽部

◆ 協力　陶山塾（明和荘）

◆ 参加人数　15名

◆ 概要　今期、第9回目となる「あじさいサロン前川クラス2月」を開催。
内容は「根っこにとっての環境とはどういうものか」で、10月の会から続く『根っこ』をテーマとした講演内容であった。
開催場所は”教育と健康”をコンセプトとしている明和荘（陶山塾）で、当会員所有の築100年余りの古民家を活用した学びの場である。
参加者は午前中にその裏山を散策して、人間と自然との共生を体感できた。
昼食は地元の人から寄せられた野菜、お米は明和荘自慢のミルキークイーンを使ったお弁当であった。

◆ 写真

第9回　あじさいサロン前川クラス2月

日時：2021年2月28日（日）10:30～15:00
10:15　受付
10:30～11:30　明和荘　裏山散策
12:00～13:00　ランチミーティング
13:30～15:00　前川講師によるお話

場所：明和荘（陶山塾）（広島県三次市甲奴町小童2810）
参加費：1,500円（ランチ代含む）

内容：「根っこにとっての環境とはどういうものか」

植物の根っこ環境（土壌環境）から、
その先の社会的根っこ環境を見透かす。

議長によって地上に繁栄していた恐竜が絶滅した時にも、地中に逃れた引海中にいたりして地球の生物は生き延びました。土の中は温度も湿度も、地上よりずっと安定しています。もっとも驚いになるシュルターは地下に有るのかも知れませんね。
ところで、川や海底の底はどで遮られることも有りますが、構造物としてきちんと綺麗なものにはできるだけ有機物が少ないことが通しています
一方、様々な植物を育てる所には肥料成分の含まれた土と土壌が通しています。
生き物の居場所としては、全ての生き物の体を構成している有機物が含まれていて欲しいですね。
生き物によって欠かせない有機物の受け渡し場所としての土壌環境について、すこしだけ専門的に見直してみませんか。

主催：四文会所
共催：NPO法人　百華倶楽部
協力：明和荘（陶山塾）

陶土塾
明和萩